

付録 国の記念事業

国における産業教育120年記念事業は、平成16(2004)年11月25日(木)の記念式典を中心に、種々の行事が行われた。ここでは、その概要を簡単に述べる。

第1節 準備

記念会の発足

平成15(2003)年12月24日(水)に都内パレスホテルにおいて、産業界、教育界、関係団体の代表者が集まって、産業教育120年記念事業発起人会総会が開催され、産業教育120年記念会が設立された。

議事内容として、趣意書・会則・実施委員会規程・事業計画・収支予算書等が決定されるとともに、記念会役員が掲載された。

(1) 主な役員

名誉会長	日本経済団体連合会会長	奥田 碩
顧問	経済同友会代表幹事	北城 恪太郎
	日本商工会議所会頭	山口 信夫
	全国中小企業団体中央会会長	石川 忠
会長	産業教育振興中央会会長	茂木 友三郎
副会長	産業教育振興中央会評議員会長	野崎 弘
	産業教育振興中央会理事長	池田 守男
実施委員長	産業教育振興中央会理事長	池田 守男
副実施委員長	産業教育振興中央会副理事長	井上 孝美
	産業教育振興中央会常務理事	郷 宗親

(2) 事業計画

- ① 記念式典の挙行
- ② 産業教育振興全国大会の開催
- ③ 産業教育功労者の表彰
- ④ 記念講演・シンポジウム等の開催
- ⑤ 記念作品の募集・選奨
- ⑥ 産業教育120年記念誌の刊行
- ⑦ 特別放送・新聞特集記事等の推奨
- ⑧ その他必要な事項

(3) 事業予算

	(円)		(円)
収入	30,763,968	支出	27,638,989
醸出金	18,293,900	記念式典費	11,556,976
(全国専門高校、外関係教育団体)		(功労者表彰、会場費等)	
賛助金	1,270,000	産業教育振興大会費	4,570,507
(大学等教育機関)		記念作品募集表彰費	1,533,485
(関係教育団体)		記念会誌編纂費	4,466,000
(関係経済団体)		募金経費	2,248,960
寄付金	10,490,000	広告活動費	1,841,061
(産業経済界)		その他の事務諸費	1,422,000
雑収入	710,068		

(注) 事業予算は、平成17(2005)年6月末日現在における収支決算(若干の見込額を含む)である。

(4) 実施委員会組織

総務部	山崎 晟	産業教育振興中央会専務理事(旧)	総括、広報、記念式典、功労者表彰
	中山 淑廣	産業教育振興中央会専務理事(新)	振興大会、会計経理、祝賀会等
募金部	青木 博一	千葉県立千葉工業高等学校長(旧)	募金活動
	松井 立夫	千葉県立茂原工業高等学校長(新)	
記念作品部	服部 次郎	筑波大学附属坂戸高等学校長	記念作品の募集・選奨等
会誌編纂部	古市 義策	千葉県立千葉商業高等学校長	産業教育120年記念会誌編纂・刊行

第2節 記念事業

1 記念式典の挙行

記念式典は、朝から青空が一面に広がり、風もなく穏やかな日の中、平成16(2004)年11月25日(木)に国立オリンピック記念青少年総合センター内カルチャー棟大ホールにおいて、皇太子殿下をお迎えして、次の順序で粛々と挙行された。

式次第

(1)開式のことば	産業教育120年記念会理事	山崎 晟
(2)国歌斉唱		
(3)式辞	産業教育120年記念会名誉会長	奥田 碩
(4)式辞	産業教育120年記念会会長	茂木友三郎
(5)式辞	文部科学大臣	中山 成彬
(6)祝辞	内閣総理大臣	小泉純一郎
(7)祝辞	衆議院議長	河野 洋平
(8)祝辞	参議院議長	扇 千景
(9)来賓紹介	産業教育120年記念会理事	石川 千尋
(10)産業教育功労者表彰	文部科学大臣	中山 成彬
	産業教育120年記念会会長	茂木友三郎
(11)皇太子殿下のおことば		
(12)閉式のことば	産業教育120年記念会理事	小林 聰

2 産業教育功労者の表彰

産業教育功労者として、全国で文部科学大臣表彰を受けた者は茂木友三郎記念会会長はじめ678人、記念会会長表彰を受けた者は230人であった。

そのうち、本府関係者は次の文部科学大臣表彰15人、記念会会長表彰7人であった。

文部科学大臣表彰

産業界	記念会顧問、全国中小企業団体中央会会長 大阪実業教育協会会長、住友電気工業株式会社相談役 大阪実業教育協会理事長、日本ペイント株式会社会長	石川 忠 川上 哲郎 藤井 浩
教育界	元大阪市立高等学校長、大阪実業教育協会専務理事 元文部省初等中等教育局主任視学官、大阪電気通信大学教授、同高校長 元大阪市立高等学校長、専門学校副校長 元大阪府立工業高等専門学校長 元大阪府立高等学校長、私立中学校高等学校長 大阪大学教授 関西大学教授 大阪府立工業高等専門学校長 元大阪府立高等学校長、大阪女子高等学校長 元大阪府立高等学校長、専門学校長 元大阪市立高等学校長、元医療技術専門学校長 元大阪市立高等学校長、専門学校長	西澤 爽 岩本 宗治 延與 恒好 斎藤 昭三 重森 治 菅井 勝雄 田村 坦之 室津 義定 東 元宏 中野 吉晟 藤野 道夫 山田 溪

記念会会長表彰

産業界	武田薬品工業株式会社社長 本会評議員、大阪ガス株式会社相談役 元大阪実業教育協会事務局長	長谷川閑史 領木新一郎 永本 信義
教育界	元大阪府立白菊高等学校長、元全国看護高等学校長協会副理事長 大阪市立天王寺商業高等学校長 元大阪府立白菊高等学校長、元全国看護高等学校長協会理事長 元大阪府立白菊高等学校校長、元全国看護高等学校長協会副理事長	石黒 典男 前田 俊一 和田 昇 渡邊 文一

産業教育振興全国大会は、記念式典終了後、同じ国立オリンピック記念青少年総合センター内カルチャー棟大ホールにおいて午後1時から3時30分まで、約500人の参加のもと、次の順序で盛大かつ有意義に行われた。

大会次第

- | | | |
|------------------|---|-------|
| (1) 開会のことば | 産業教育120年記念会理事 | 井上 孝美 |
| (2) 主催者あいさつ | 産業教育120年記念会会長 | 茂木友三郎 |
| (3) 文部科学大臣あいさつ | | 中山 成彬 |
| (4) 実施委員長あいさつ | 産業教育120年記念会実施委員長 | 池田 守男 |
| (5) 産業教育功労者表彰 | 産業教育功労者230人を代表して、金沢忠夫茨城県産業教育振興会会長に茂木友三郎記念会会長から表彰状が授与された。 | |
| (6) 記念作品入選者発表・表彰 | 論文・研究文・作文・標語・ポスターの各部門最優秀者に近藤信司文部科学審議官から文部科学大臣奨励賞の表彰状が授与され、茂木友三郎記念会会長から記念品が贈られた。 | |
| (7) 記念講演 | 演題 「日本経済の見通しと産業教育への期待」
講師 諸井 虔 太平洋セメント(株)相談役、(株)東京放送取締役、産業教育振興中央会顧問 | |
| (8) 大会宣言・決議 | 産業教育120年記念会実施副委員長 | 郷 宗親 |
| (9) 万歳三唱 | 産業教育120年記念会副会長 | 野崎 弘 |
| (10) 閉会のことば | 産業教育120年記念会理事 | 上田 有宏 |

4 記念作品の募集と選奨

産業教育120年に当たり、産業教育に関係のある高校の教員並びに生徒から、産業教育に対する新しい認識と実践力を期待し、次の5部門についての作品の募集が行われ、入賞者には産業教育振興全国大会の席上において、表彰が行われた。

応募要項

- (1) 論文 産業教育の在り方、振興方策などについての創造的・建設的な意見。
 ワープロ使用の場合 A 4 版、縦型横書、1 頁22字×38行×2 段組 5～6 頁
 原稿用紙使用の場合 400字詰め原稿用紙20～25枚以内
 (産業教育に携わる高校の教員)
- (2) 研究文 生徒の個人又はグループによる産業教育に関する研究・実験実習、就業体験等の成果をまとめたもの。
 ワープロ使用の場合 A 4 版、縦型横書、1 頁22字×38行×2 段組 5～6 頁
 原稿用紙使用の場合 400字詰め原稿用紙20～25枚以内
- (3) 作文 生徒が教育研究・就業体験などで体験した感想・決意・抱負などを述べた作品。
 ワープロ使用の場合 A 4 版、縦型横書、1 頁20字×35行×2 段組 3～4 頁
 原稿用紙使用の場合 400字詰め原稿用紙10枚以内
- (4) 標語 産業教育の意義、重要性、喜び、楽しさ等を簡潔なことばで社会に伝える作品。
- (5) ポスター 産業教育の意義、重要性、喜び、楽しさ等を図案で社会に伝える作品。
 図柄は自由、色は金・銀・蛍光の特殊な色は不可とし、用紙の大きさはB 2 版とする。

表彰

最優秀賞	文部科学大臣賞	各1名(副賞・記念品)
優秀賞	産業教育120年記念会長賞	各2名(副賞・記念品)
佳作賞	産業教育120年記念会長賞	若干名(副賞・記念品)

入選者については、産業教育振興全国大会において表彰授与された。

